（別紙4（2））

事業所名 グループホーム花の苑

作成日： 平成 29年 12月 18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	実践の中での指針となる理念の意識化と共有に向けた更なる機会の増加	理念の共有に向けて、まずは職員のやりたいことや、気持ちをスローガンとして掲げ、各職員の意識の一本化を図る。	定例会議においての各職員の目標や業務への取り組み方を聞き取り、グループホームらしいスローガンを掲げ、職員全体の意識を向上していけるようにしていく。	12ヶ月
2	4	参加できない方への議事録の送付や事前の意見聴取等を通じてより多くの家族等関係者に関心をもっていいただき、意見が反映されるような取り組みを実施する。	家族が参加できるようなイベントを開催する。	来年度の目標として、敬老食事会を開催し家族の参加を促し、意見交換の場を作ることを目指している。	12ヶ月
3	26	各職員が日常的なケアにあたるうえで、ケアプランに示された内容をより一層意識できるように、さらには各職員がモニタリングをしているという意識を持てるような記録の工夫をする	記録の書式の変更、各利用者記録へのケアプランの掲載。	現在の記録の書式を変更し、各利用者個別の記録を作成。記録の先頭に常にケアプランを添えてプランを確認しながら記録を記入できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。